

審議会が保護者説明会

NY日本人学校校舎売却問題

PTAも臨時総会28日に開催

財政的事情からコネティカット州グリニッチの全日制日本人学校の校舎売却・リースバツクを検討しているニューヨーク日本人教育審議会(坂本和彦会長)は8月24日、同校保護者に対し、9月2日(金曜、日本クラブで、3日(土)、5日(月)(共に日本人学校で)の3日間、説明会をすることを通知した。

「生徒減少傾向の中で、同一地域に全日制日本人学校が2校もあるのは世界でニューヨーク地域のみ。1校に集約して経費節減に理解を求めよう」というスタンスだ。保護者は、リースバツク後の校舎共有使用での買収側学校との生徒間のトラブルを心配して計画続行に強い難色を示している。

審議会としては2年度の保護者説明会となるもので、「保護者と関係者への理解を求めて進めていくプロジェクトであると同時に、将来を見据えた抜本的対策を早急に講じなければならぬ」という認識に変わりがない」としている。

一方、保護者は、8月28日午前10時から日本人学校でPTA臨時総会を開いて対応を協議することになった。また26日には、双方から代表者5人程が出席

NY補習授業校事務局 事務長退職に5万ドル

今年3月末で退職したニューヨーク補習授業校の事務長に、審議会職員としては異例の月給10か月分の5万ドル近い退職金が支払われていたことが明らかになった。8月18日に開かれた執行役員会で詳細が報告された。

審議会は、この事務長が、勤続25年で事務長として20年以上勤務した功労を評価、特別慰労金事務局で勤務している。

として4か月分を上乗せした退職金4万6140ドルに29日分の未消化年休買い上げ分6175ドル5セントを加え、計5万2315ドル55セントを審議会財務担当委員長の承認を受けて支払ったという。この元事務長は、退職翌日の4月1日付でパートとして審議会に再雇用され、元の補習校事務局で勤務している。

松村事務局長辞意表明

7月15日に開催されたNY日本人教育審議会理事会で松村事務局長は辞意を表明したが、理事会は本意をただしている。